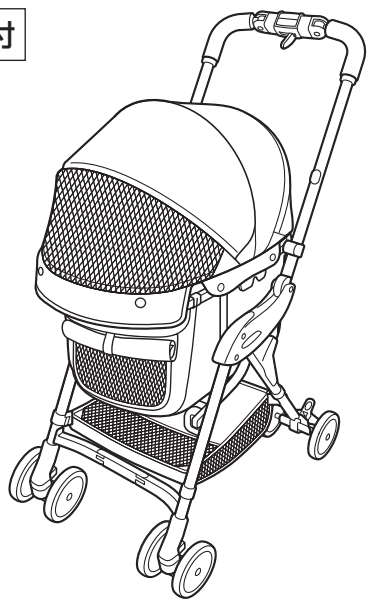




品質保証書付



ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 本書は大切に保管してください。
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。
- この製品は、犬、猫専用ペットカートです。
- 望ましい連続使用時間：1時間以内
- 使用できるベットの条件：2匹以下、合計体重15kg以下
- ご使用中は、つねにペットおよび周囲の安全にご配慮いただき、公共のルールとマナーを守って、正しくご使用いただけますようお願いいたします。

※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

ペットカートの標準使用期間

ペットカートの「標準使用期間」は「新規購入後5年」です。
標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。
●新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
●標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障場合がありますが、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
●標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
●使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 ペットカート			
本書は、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。			
保証規定	製品名 コムベット ミリミリ EG ロング (後継製品のシールを貼ってください)	ロットNo.	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。	お客様 お名前 ご住所 〒 TEL	お買い上げ日 年 月 日	
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。	TEL		
3. 保証期間内で次のようなものは有料修理になります。 (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。 (b) カバーなど、縫製品の傷やひび。 (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。 (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。 (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。 (f) 本書のご提示がない場合。 (g) 一般家庭以外で、業務用などに使用された故障した場合。 (h) 有料修理の場合に必要な発送運賃。 (i) 車輪の自然摩耗。 (j) 紛失の部品。	TEL		
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしません。	修理メモ		
5. 製造中または後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。			

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。
コンシューマープラザ (Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271
受付時間：9:30～17:00（土日祝日、年末年始を除く）
■総合受付（各種ご相談）窓口 | 商品に関するお問い合わせ / 修理のご要望 / 部品販売 / 各種ご相談 / その他
TEL (048) 797-1004 FAX (048) 798-6109

※ 製品の仕様は改善などのために予告なしに変更することがあります。

175856120 23.09

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、ペットおよびご使用者のあなたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、ペットおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」の2つに区分して示してあります。
安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
警告	誤った取り扱いをすると、ペットまたは人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	誤った取り扱いをすると、ペットまたは人が傷害を負ったり物的損害の可能性がります。
●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。	
警告/注意	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
禁止行為	禁止行為であることを告げるものです。
補足説明	補足説明

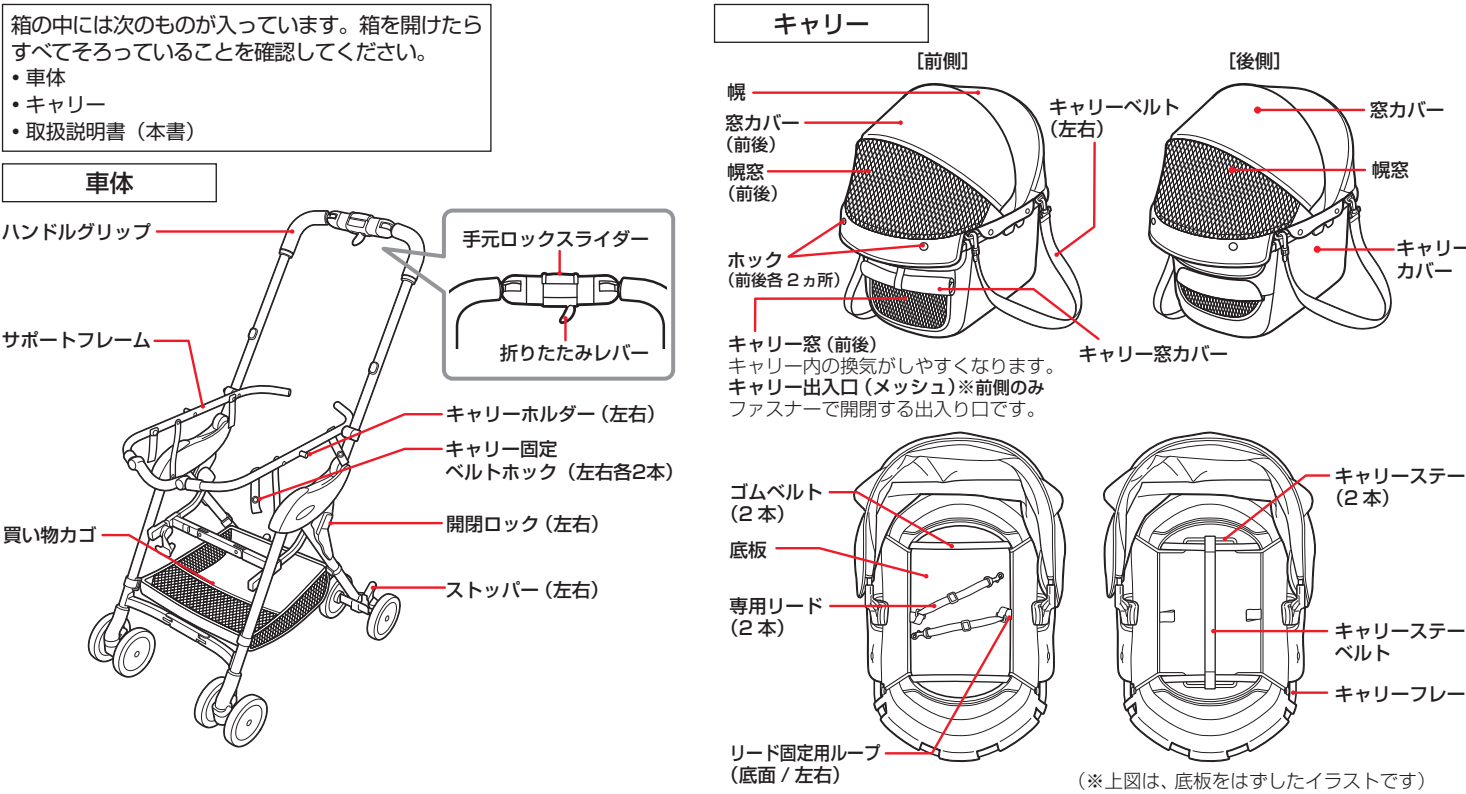
- ペットに異変を感じたときは、すぐに使用を中止してください。
- 車の中や暖房器具の近くなどの温度が高くなることが想定される場所にペットを入れたまま放置しないでください。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかみなどの悪路では使用しないでください。
- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。
当社コンシューマープラザにご連絡ください。
- ペットを乗せたまま、ペットカートを持ち上げないでください。
- ペットを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつるすと不安定になり、ペットカートが転倒するおそれがあります。
- ペットのリードを、ハンドルなどに繋がないでください。ペットカートが転倒するおそれがあります。
- ペットカートに同時に3匹以上のペットを乗せたり、ペットをキャリア以外のところに乗せないでください。
- ご使用中にハンドルに寄りかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。
- ペットは思わぬ動作をしますので、ご使用中はつねに目を離さず、十分注意してご使用ください。
- ペットカートは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ペットカートだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときは使用しないでください。
- 勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 長時間連続してのご使用は、ペットの負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中で使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 本製品は、電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用ときは、鉄道会社へ本製品の利用条件確認の上で、ご使用ください。また、電車の中では、カーブや急ブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみやカバーおよびベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用すると、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、後脚後側に貼ってあるシールをご覧になって製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはすした部品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはすしたままですと思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

各部のなまえ



日常のお手入れ

- 縫製品の洗濯について
 - キャリアカバー、底板カバー、買い物カゴの洗濯
 - 水、またはぬるま湯にて手洗いしてください。
 - つむぎの洗剤は使用しないでください。
 - 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
 - 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
 - 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
 - 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
 - 網、専用リード、キャリアベルト、キャリアステープルの洗濯
 - 網、専用リード、キャリアベルト、キャリアステープルは液につけず、水、またはぬるま湯の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
 - 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
 - ※ 網や買い物カゴのプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。
 - ※ キャリステープルは取りはすすることができます。
 - ※ 製品の特性上若干色あせすることがあります。
 - ※ 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹のおそれがありますので使用しないでください。
 - ※ 保管状態により、カビが発生する可能性があります。こまめに洗濯をし、清潔に保つよう心がけてください。
- 注油について
 - きしみが発生したり、作動が鈍くなった注油が必要と思われる場合は、必ず、潤滑油（シリコン系）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
 - 右に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- 車体やキャリアに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
- 車体を立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。車体が動き出し転倒するおそれがあります。
- 車体を寝かせて保管する場合は、横向きに寝かせたりしないでください。故障や変形の原因となります。

車体の開きかた

- 自動フックを引き上げてはすす。
●手元ロックスライダーを矢印方向にスライドし、折りたたみのロックを解除する。
- ハンドルグリップを両手で握り、折りたたみレバーを握りながら、ハンドルグリップを持ち上げ車体を完全に開く。
- 折りたたみレバーを握りながら、ハンドルグリップを持ち上げ車体を完全に開く。
- 手元ロックスライダーを元に戻し、折りたたみレバーをロックする。

車体の折りたたみかた

- キャリアを取りはすす。「キャリアの取りはすしかた」参照
- 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドし、折りたたみのロックを解除する。
- 2面折りにするには、折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に倒す。
- 3面折りにするには、折りたたみレバーから手を離し、左右のハンドルグリップを逆手で持ち、内側にたたむ。
- 手元ロックスライダーを元に戻し、折りたたみをロックする。

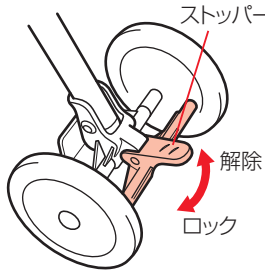
ストッパーの使いかた

ペットカートを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。路面状態や使用状況により、車輪が浮く場合がありますが、使用上問題ありません。

- 警告**
- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
 - ペットを乗せたままペットカートから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけてください。ペットカートが動き出したり、転倒するおそれがあります。

- 注意**
- 空車であっても、ペットカートから離れるときは、必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

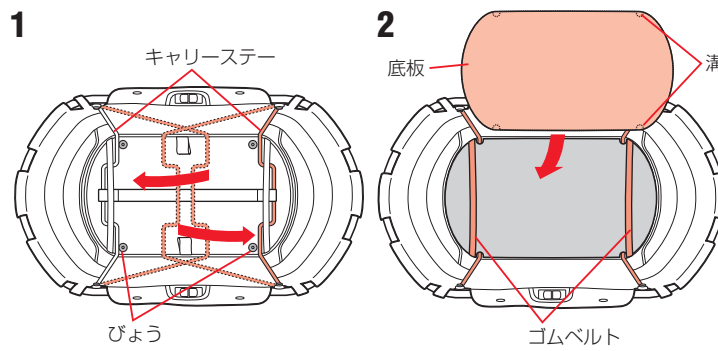
1. 左右後車輪のストッパーを押下げてロックする。
 2. ペットカートを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。
- ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。



キャリーの開きかた・たたみかた

開きかた

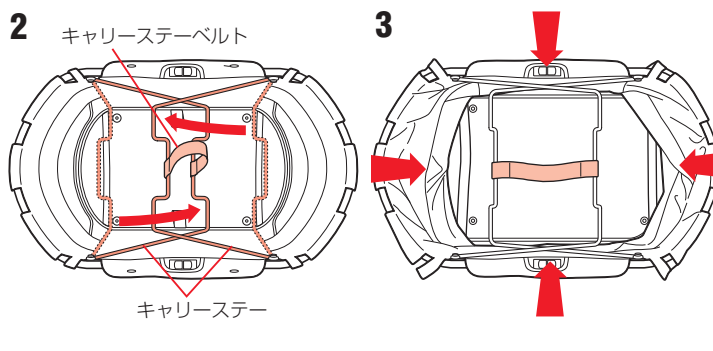
1. キャリーステア（2本）を広げる。
底面にある4カ所のびょうを乗り越え、キャリーステアベルトを完全に伸ばしてください。
2. ゴムベルトに底板をくぐらせ、底板の溝とキャリーステアの位置をあわせて、底板を入れる。
底板は、クッションが入っている面を上にしてください。



- 注意**
- キャリーステアを広げたり、たたんだりするときは、指や手などをはさまないように注意し、操作してください。
 - 底板は必ず使用してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 専用リードは必ず底板の上に出してください。
 - 使用しない専用リードは、必ず取りはずしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

たたみかた

1. 底板をはずす。
2. キャリーステアベルトを引き上げながら、キャリーステア（2本）をたたむ。
3. キャリーをたたむ。

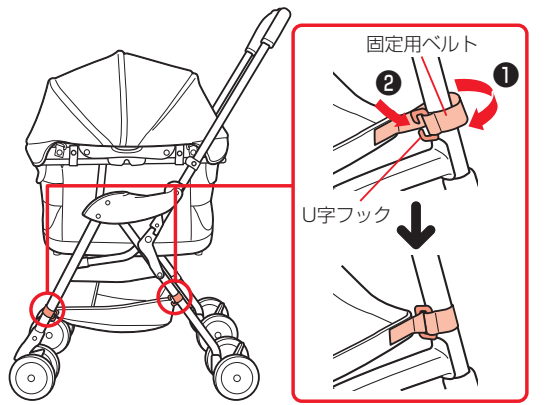


買い物カゴの取り付けかた・使いかた

- 注意**
- 3kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
 - 角のとがったものや、買い物カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。
- 荷物の落下や買い物カゴの変形およびぶれの原因となります。

- ① カゴ前後左右の固定用ベルトを、前脚後脚にベルトを巻きつけ、
 - ② U字フックにはさみ込んで取り付ける。
- 取り付け後、しっかりと固定されているか、引っばって確認する。

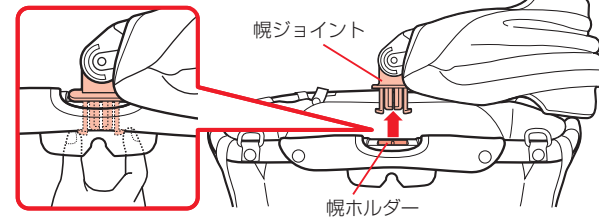
- 注意**
- 荷物について
できるだけ買い物カゴの底に均等に荷重が加わるようにのせてください。



幌の取り付けかた・はずしかた・使いかた

はずしかた

1. 幌前後のフック（各2カ所）をはずす。
（右記の「使いかた」参照）
2. 幌ジョイント下端のツメをつまみながら、幌ジョイントを幌ホルダーから上に引き抜く。



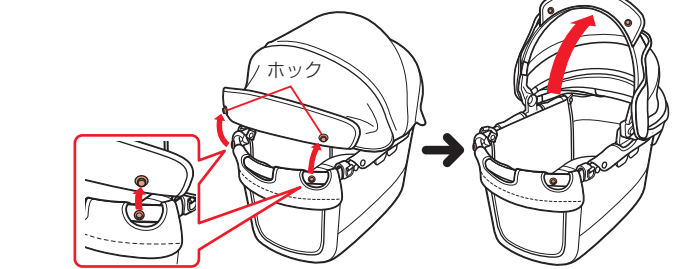
取り付けかた

幌ジョイントを幌ホルダーにしっかりと差し込む。

- 注意**
- 幌の取り付け操作は、そばに人（特に小さいお子さま）やペットを近づけずに行ってください。
 - 指や手などをはさんだりするおそれがあります。

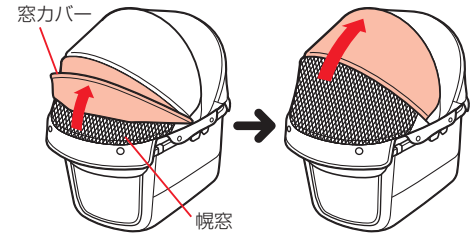
使いかた

開くとき：幌の前または後のフック（各2カ所）をはずし、幌を開く。
閉じるとき：幌を閉じて、幌前後のフック（各2カ所）でとめる。



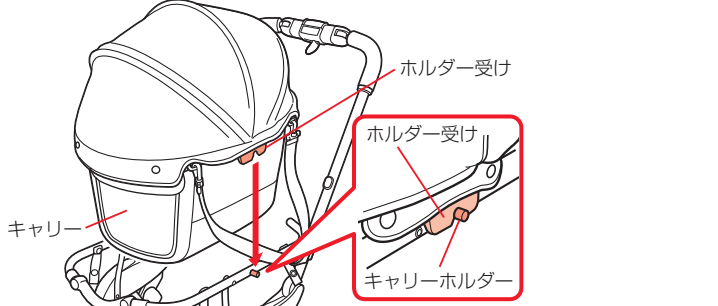
幌窓の使いかた

幌前後の窓カバーをめくり上げ、幌窓を開ける。



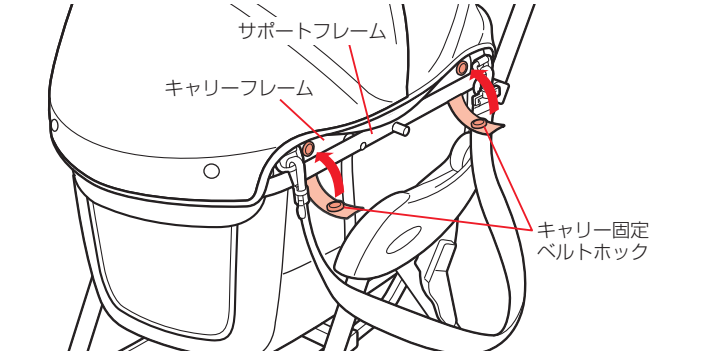
キャリーの車体への取り付けかた

1. キャリーをサポートフレームのキャリーホルダーにあわせておろす。



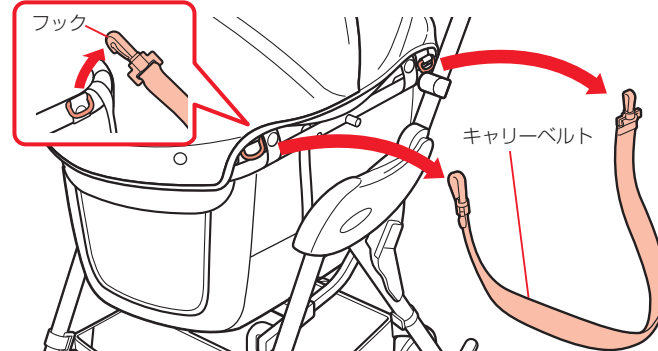
- 警告**
- キャリーを取り付けるときは、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 注意**
- キャリーとサポートフレームのすき間に指や手などをはさまないように注意してください。

2. サポートフレームのキャリー固定ベルトフック（左右各2カ所）をキャリーフレームにとめる。



- 警告**
- ペットカートとして使用するときには、必ずキャリー固定ベルトフックをとめてください。キャリーが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

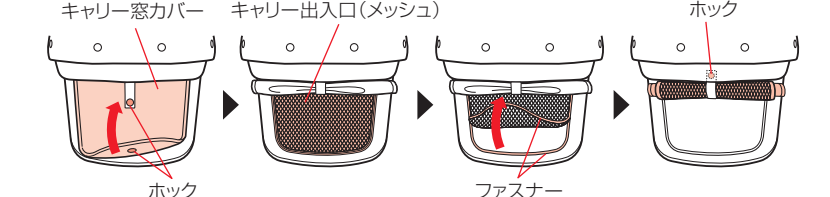
3. キャリーベルトのフック（左右各2カ所）をはずし、キャリーベルトを取りはずす。



- 注意**
- ペットカートとして使用するときには、必ずキャリーベルトをはずしてください。
 - 思わぬ事故につながるおそれがあります。

キャリー出入口の使いかた

開くとき：キャリー窓カバーをめくり、次にキャリー出入口（メッシュ）のファスナーを開け、図のようにキャリー窓カバーと一緒にまとめてフックでとめる。

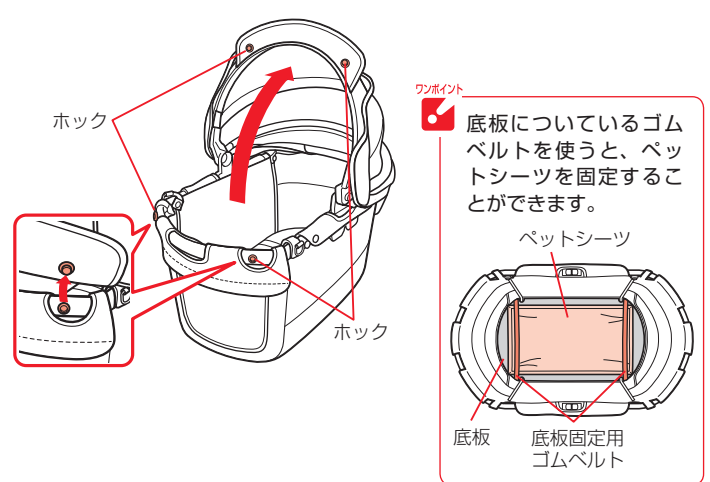


閉じるとき：フックをはずし、キャリー出入口（メッシュ）のファスナーを閉じ、キャリー窓カバーをもとの状態にする。

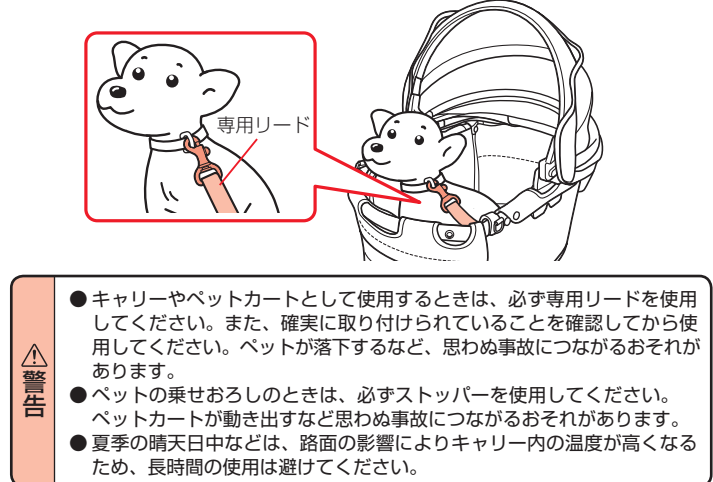
- 注意**
- ペット（目安の体重は7kg）の大きさや体形により入りが難しい場合があります。
 - 車体に取り付けている場合は、キャリー窓の開閉は行わないでください。ペットが落下するおそれがあります。

ペットの乗せかた

1. 幌の前または後のフック（各2カ所）をはずし、幌を開く。

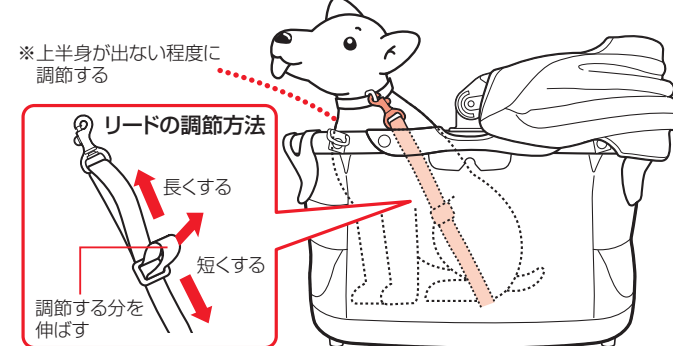


2. ペットを乗せて、専用リードにつなぐ。



- 警告**
- キャリーやペットカートとして使用するときには、必ず専用リードを使用してください。また、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。ペットが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ペットの乗せおろしのときは、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりキャリー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。

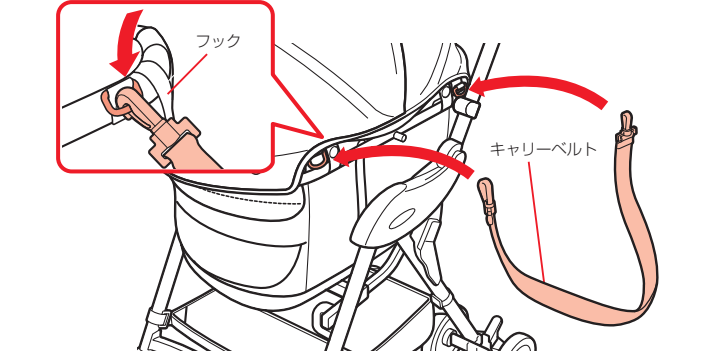
3. ペットの上半身がキャリーからはみ出さない程度に専用リードの長さを調節する。



- 注意**
- 専用リードの長さは、必ず調節してください。
 - 思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 電車の中で利用する際、周りに人がある場所や階段・段差・傾斜のある場所、また、タイルなどすべりやすい場所での使用はやめてください。落下や転倒などのおそれがあります。

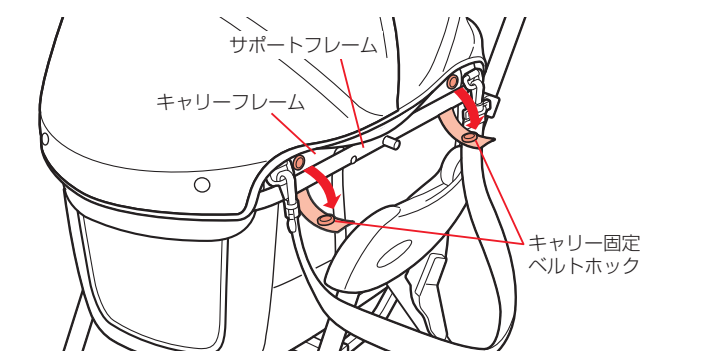
キャリーの取りはずしかた

1. キャリーベルトのフック（左右各2カ所）を上からとめ、キャリーベルトを取り付ける。

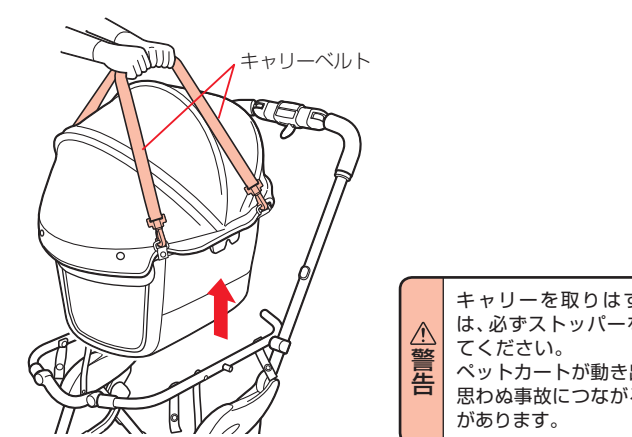


- 注意**
- フックの向きは、図のとおり上から取り付けてください。
 - 逆に取付けると、キャリーベルトが外れるおそれがあります。

2. サポートフレームのキャリー固定ベルトフック（左右各2カ所）をキャリーフレームからはずす。



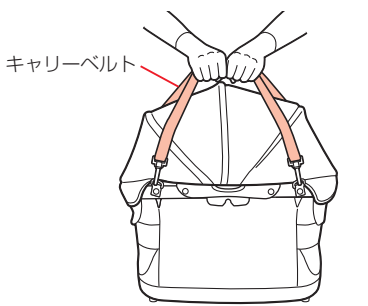
3. キャリーベルトを持ってキャリーを持ち上げ、取りはずす。



- 警告**
- キャリーを取りはずすときは、必ずストッパーを使用してください。
 - ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

キャリーの持ちかた

キャリーベルト（2本）を両手でしっかりと握り、持ち上げる。

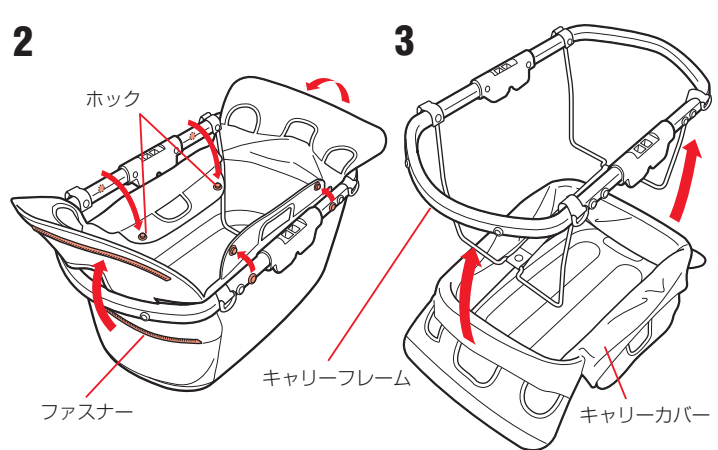


- 警告**
- キャリーは、必ず両手を使って持ち運んでください。
 - キャリーが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - キャリーをテールやイスの上など落ちるおそれのある場所や階段・段差・傾斜のある場所、また、タイルなどすべりやすい場所での使用はやめてください。落下や転倒などのおそれがあります。

部品の取りはずしかた・取り付けかた

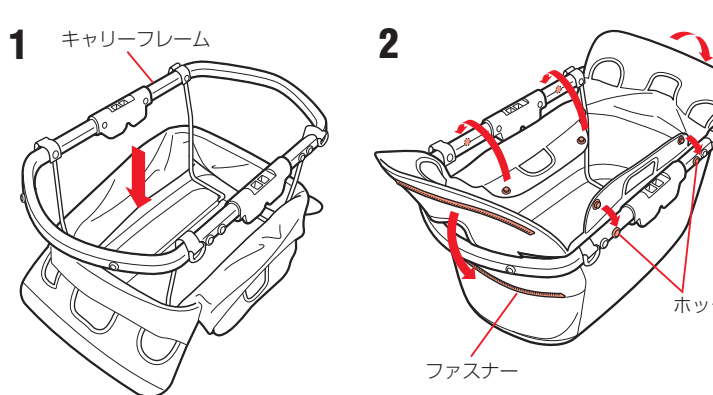
キャリーカバーの取りはずしかた

1. 幌をはずす。（「幌のはずしかた」参照）
2. ファスナー（2カ所）をはずし、フック（4カ所）をはずす。
3. キャリーフレームからキャリーカバーを取りはずす。



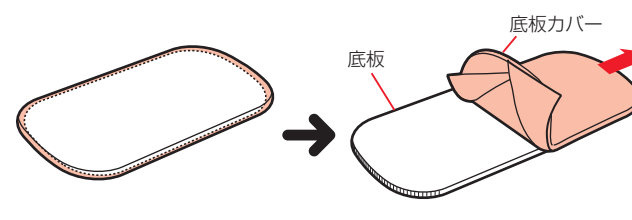
キャリーカバーの取り付けかた

1. キャリーステアを広げてキャリーフレームをキャリーカバーに入れる。
2. キャリーカバーのフック（4カ所）をとめ、ファスナー（2カ所）をとめる。

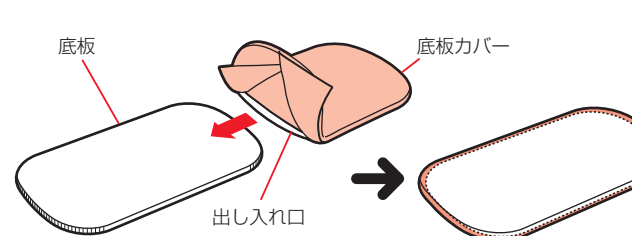


底板カバーの取りはずしかた・取り付けかた

底板から底板カバーを取りはずす。



底板に底板カバーを取り付ける。



専用リードの取りはずしかた・取り付けかた

U字フックをはずし、専用リードをキャリー底面のリード用ループから引き抜く。

